




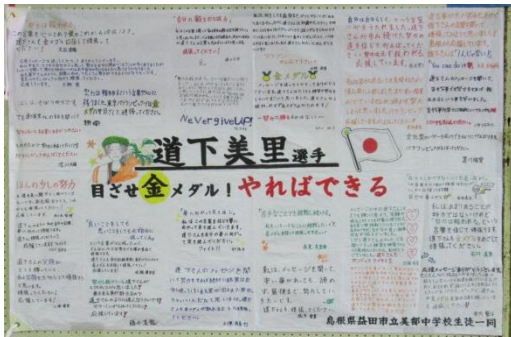


令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

道府県・政令市名【島根県】

学校名【益田市立美都中学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒27名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ③その他（パラリンピアン応援プロジェクト）
4 目標 (ねらい)	○ブラインドマラソンを理解し、共生社会の構築に向け、自分たちにできることを考え実践する態度を養う。 ○パラアスリートとの交流を通して、自分の生き方を考えたり将来の在り方につないだりする。
5 取組内容	<p>7月 道下美里選手（ブラインドランナー）に手紙を送る。 ・マラソン大会で一緒に走った教員の思い ・図書「パラリンピックのアスリートたち 可能性は無限大」を読んだ陸上部の生徒たちの思い</p> <p>8月 道下美里さんから動画メッセージが届く。</p> <p>9月 動画メッセージに込められた道下選手の思いや願いを受け止めた3年生のリーダーたちが道下さんを応援しようと動き出す。</p>  <p>★応援プロジェクト①「道下さんを知ろう」（10月13日） ブラインドマラソンについて全校生徒に説明し、動画メッセージを全校生徒で視聴した後、道下さんへの応援メッセージを考える。</p>    <p>★応援プロジェクト②「応援旗を作ろう」（10月15日） 自分たちが考えた応援メッセージを応援旗にする。</p>  

★応援プロジェクト③「応援旗を送ろう」（10月23日）
 手作り応援旗を送る「動画メッセージ」を作る。



12月 道下さんが自身のもつ世界記録を更新し、防府読売マラソンで優勝したとの報道に、喜びを伝える写真を送ると、「応援旗を持っていったよ」と返信がくる。



<p>6 主な成果</p>	<p>○リオデジャネイロパラリンピック女子マラソン銀メダリスト道下美里さんからのビデオレターで、生徒たちはアスリートとしての高い意識や常に明るく周囲を勇気づける人間的な魅力も知ることができ、その姿に勇気や元気をもらったという生徒が多かった。 ○3年生を中心に率先してプロジェクトを進めることで、コロナ禍でも自分たちにできることがたくさんあることに気づき、活動を通して主体性が身についた。道下さんとの交流を通して東京大会への機運醸成を図ることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>○コロナ禍の中、パラアスリートなど講師の招聘は難しいが、いただいた縁を大切に、ビデオレターや手紙、メールなどのやりとりで交流を続けることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○パラアスリートは、大会や遠征、練習などのスケジュールがあるので、選手の所属先の担当スタッフとの連絡・調整が大切である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○中心となって活動した3年生の思いを下級生につなぎ、これからも全校で応援していく。</p>